

職員による自己評価

A環境面

- ・トイレの手すりは付けた方が良い。
- ・人数が多い時は手狭に感じる。

B児童への支援内容

- ・職員間での支援に対する意見交換が、常に行えている。

C関係機関との連携

- ・自立支援協議会こども部会への参加が出来、夏休みに学校から二日間放課後デイの過ごし方を見学に来ていただける事があった。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者へは連絡帳や送迎時に一日の様子を伝えているが、言葉がたりない時もあり、伝えきれないこともあった。

E非常対応

- ・不審者対応の訓練が出来た。

保護者による評価

A環境面

- ・限りあるスペースを工夫して使っている。
- ・手すりやスロープの設置が出来ていない。

B児童への支援内容

- ・季節に合ったプログラム作り、リトミックで健常児との交流を楽しみにしている。
- ・クリスマス会などで他校の生徒と交流があった。

C事業所からの情報発信

- ・毎月のニュースレターを楽しみにしている。
- ・来月の予定を詳しくおやつ等教えてほしい。

D非常対応

- ・特になし

事業所内での分析

【共通点】

スペースを工夫して使っているが、バリアフリーへの配慮は少ない。

子ども達が楽しんで出来るように季節に合わせたプログラム作りやニュースレター・BLOGで情報発信している。

【相違点】

リトミックにおいて月1回や夏休み・クリスマス会にて健常児との交流の場を設けているが、全員参加ではない為か周知出来ていない。

・子供たちの様子を撮影したものをプロジェクター映写で工夫して2回目の保護者会の案内をしたが父母の参加が少なかった。(一回目の参加者は不参加が多かったです。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・職員の入れ替わりがない。
- ・アニマートのテーマである”元気でいきいきとすごせるよう”“一日の流れの中に「静・動」の活動を組み込んでいる。
- ・季節を感じられる行事や好き嫌いを減らす「食」への工夫に取り組んでいる。
- ・リトミック・ダンスの先生を招いて活動している。
- ・地域資源を活用している
(夏のお泊まり会、港北図書館・コミュニティーハウス・菊名神社・ログハウス・ラポール等)

事業所の改善点

- ・定員 10 名を守りスペースの確保を図る。
- ・トイレの手すりの設置
- ・クリスマス会に地域の方を招く。
- ・現在行っているリトミックでの交流の場を広げ全ての児童が機会を持てるようにする。
- ・定期的な職員の研修

事業所の改善への取り組み

・子供の成長に伴い、スペースは手狭な感はある。長く利用いただく方もいて、すぐには無理だが新規の一年生を少なくし人数・曜日を振り分け定員の 10 名を守ることで、スペースの確保に努めていきたい。

昨年に引き続き職員の入れ替わりがなかったことで、継続した支援（行事など）を続けていきたい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

昨年は 2 回目の保護者会・お泊りができ 2 年間を通して 80%の保護者や児童の参加がありました。また、健常児との交流はリトミックを通じ行っています。ただ保護者の中には、ご存知のない方もいてニューレター・ブログでもっと発信していかなければいけないのかと思いました。

不審者対応の訓練が出来たことは良かったが、子ども達に浸透するよう繰り返し実施していきたいです。

2019 年度利用

事業所名 児童デイサービス・アニマート菊名

担当者 管理者 山崎 珠美